



令和8年4月24日

日本初「走るICU」高規格病院救急車をお披露目
—広島大学病院、現場へ向かう高度医療を実現—
(4/28(火)実施)

情報提供

広島大学病院は、令和6年度補正予算の文部科学省高度医療人材養成事業（大学病院における医療人材養成環境の更なる高度化）の採択を受け、高規格病院救急車、遠隔ICUシステムなどを整備しました。その中の一つである重症患者搬送に特化した高規格病院救急車は、心肺補助装置（ECMO）や人工呼吸器を装着した重症患者を安全に搬送できる装備に加え、遠隔医療（Telecritical care）機能を併せ持つ日本初の救急車です。

従来の「患者を待つ医療」から「現場へ向かう医療」の役割も担い、広島県全域の救命率向上に貢献します。地域の医療機関のスタッフや臨床実習中の学生に対する教育にも利用し、災害時には治療と搬送も担います。

下記のとおり、お披露目をいたします。ご多忙のところ恐縮でございますが、ぜひご参加ください。

記

日時 4月28日（火）13時～14時
集合場所 広島大学病院臨床管理棟2階 2F1会議室
挨拶と説明の後、実車をご取材いただけます
・挨拶、説明 [場所：大学病院臨床管理棟2階 2F1会議室]
・実車お披露目 [場所：大学病院入院棟前]
出席者 広島大学病院 安達伸生 病院長
広島大学病院救急集中治療科 志馬伸朗 教授
広島大学病院救急集中治療科 大下慎一郎 准教授

【背景】

重症患者は、高度医療機関へ集約することで救命率が向上します。しかし従来の救急車では、搬送中の状態悪化、医療機器の制約、長距離搬送のリスクといった課題がありました。特にコロナ禍にあっては、ECMO装着患者の搬送ニーズが増加し、「超重症患者を安全に運ぶ手段」の必要性が強く認識されました。

【仕様・特徴】

本車両はマイクロバスを改造した大型救急車で、

- ・最大搭乗人数：8人（患者を含む）。ストレッチャーベッドは1台、車いすであれば最大3人と医療スタッフを搬送可能
- ・大容量の酸素・電源を搭載
- ・心肺補助装置・人工呼吸器の安定運用が可能といった特徴を持ち、「搬送中も集中治療を継続できる環境」を実現しています。



依頼元から広島大学病院の高度救命救急センターへの電話連絡により出動します。出動エリアは広島県全域を想定していますが、広島大学病院から比較的近い地域については島根県や山口県の一部も対象となる可能性があります。運転は主に、広島大学病院の救急救命士が担当します。

【お問い合わせ先】

広島大学大学院医系科学研究科 救急集中治療医学
広島大学病院 救急集中治療科
Tel : 082-257-5456 FAX : 082-257-5589
E-mail : kyukyu@hiroshima-u.ac.jp

発信枚数：A4版 4枚

【FAX返信用紙】

FAX：082-424-6040

広島大学広報室 行

日本初「走るICU」高規格病院救急車をお披露目

—広島大学病院、現場へ向かう高度医療を実現—

■日 時：令和8年4月28日（火）13:00～14:00

集合場所：広島大学病院臨床管理棟2階 2F1会議室

挨拶と説明の後、実車をご取材いただけます

・挨拶、説明 [場所：大学病院臨床管理棟2階 2F1会議室]

・実車お披露目 [場所：大学病院入院棟前]

出席者：広島大学病院 安達伸生 病院長

広島大学病院救急集中治療科 志馬伸朗 教授

広島大学病院救急集中治療科 大下慎一郎 准教授

■ご出欠 □ ご出席 □ ご欠席

貴社名 _____

部署名 _____

ご芳名 _____ (計 人)

電話番号 _____

※ 誠に恐れ入りますが上記にご記入頂き、4月27日（月）16:00までにご連絡願います。

※ 当日は駐車場周辺の混雑が予想されますので、お時間に余裕をもってお越しください。

会場案内図

